

# 茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

## 2009年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 5番)

あなたがたは、神にえられたもの、聖なる、愛されているものであるから、あわれみの心、じあい、けんそん、にゆうわ、かんようを身につけなさい。

たがいにしのびあい、もしたがい、にせむべきところがあれば、ゆるしあいなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるしあいなさい。

これらいっさいのものの上に愛をくわえなさい。愛はすべてを完全にむすぶ帯である。(口語訳)

コロサイ人への手紙 3章 12～14 節

教会学校では、毎年 5 月の中ごろ、教会から歩いてすぐの、えぼし岩の見える茅ヶ崎海岸に集まり、砂浜で思いっきり遊ぶビーチプレイデイを開催しています。今年は一週、雨で順延となっていました、なんとか開催できました。企画担当の古川盛弘兄がレポートします。

## 2009年ビーチプレイデイ・レポート

古川盛弘 記

5月31日、当日は少し曇りがちでしたが、雨の心配もなく過ごせました。参加人数は、教師9名、教会関係者1名、大人8名、子ども16名の合計34名でした。昨年より少ない人数でした。





ドッジボール,宝探し,玉入れ,綱引き,棒たおし,でなかなか楽しい時間を過ごし,子どもも大人も入り混じっててんやわんやのビーチプレイデーです。

ドッジボールは,大人対子どもたちでしたが,子どもたちは強く,大人の方がバテバテ感がありました。しかし,大木姉は最後まで残って活躍し,また新たな親子対決,「馬杉親子」が誕生したりと,活気あふれるドッジボールでした。中には当てられて泣いてしまう子,ただひたすら逃げる私と安田姉,容赦ない森本校長など,人間模様がみられました。

宝探しでは,宝の番号が書かれたボールをかくすために,森本校長がスコップ片手に大活躍。本当は私の仕事なのですが,“使えるものは何でも使いなさい・・・”と神さまがいていたので(?),使わせていただきました。ハアハアゼエゼエと校長は息があがっていました。けれども,さすが教会学校の校長をまかせられているだけあって,素晴らしい働きをして下さいました。残念ながら,今年もお宝番号ボールが全部見つからず,皆さまからいただいたプレゼントが少し余ってしまい



ました。子どもたち全員に渡すことができ、この場を借りて教会の皆さまにあり  
がとうございますとひとこと書かせていただきます。

玉入れでは、勝敗はすっかり忘れてしまいました。それは何故か。子どもたち  
が盛り上がれば盛り上がるほど、かごをもっている私と校長は恐怖を味わうこと  
になるのです。顔、頭、背中、まっほとんど全身に赤玉、白玉ミサイルを浴びること  
になるのです。本当に怖いのです。やんちゃな子はわざと狙っている様です。しか  
し子どもたちがよろこんでくれるなら、私は来年も身を犠牲にして頑張るつもり  
です。もちろん森本校長にも犠牲になってもらうつもりです。

その後、子どもたち同士で綱引きをしました。白熱した綱引き・・・です。ロー  
プが切れてしまうんじゃないかと心配するほど、どちらの子どもたちも頑張れと  
大人たちは我を忘れての応援の音が響きわたりました。子どもたちは元気に綱  
を引っ張っていたため、手に豆ができてしまうほど(?) 気合を入れていました。  
大人男性 4 名対子ども 8 ~ 9 名でやったときは、私は大人の力だから余裕綽綽だ  
ろうと高を括っていたのですが、それは大間違いでした。なかなか綱を引っ張れ  
ず、しまいには腰が、腰がと押さえながら、やっと勝てた状態でした。子どもの力は  
なかなか強いのです。はっきりいってビックリしました。

今度は、棒たおしをしました。最初、私は心配でした。棒たおしはかなり地味な  
ゲームなので、もしかしたら、シラけてしまうのではと思っていたのです。子ども  
たちを 2 列に分けて、先に棒がたおれたら負けというゲームでしたが、子どもたち  
は以外と大盛り上がりです。山にした砂を手でかきわけるとき、少ししか砂をわ  
けない子、沢山砂をかきわける子とさまざまでした。キャーキャーいいながら楽  
しんでいる子どもたちをみていて、すごく気分がよくなりました。来年はまた何



か違う楽しさ倍増するような新しいゲームを取り入れていこうと思います。

来年またビーチプレイデイが近づいてきたときには、教会の皆さまに協力してもらおうことになると思いますが、よろしくお願いします。サポートして下さった教師の方々に、そしてこの様な楽しい1日を与えて下さった神さまに感謝します。ありがとうございました。

### 編集後記 (June,18th. 2009 Updated)



少し曇り空のお天気でしたが、海岸は散歩やスポーツやバーベキューなどの人でいっぱいでした。今回も小さなお友だちの参加でかわいく盛り上がりました。はやく教会学校に通ってくれる日が待ち遠しいです。成人科担当の古川兄の楽しいレポートをお届けしました。今年の夏休みには教会で1泊の夏期学校が計画されています。自分たちでカレーライスを作ったり、花火をしたり、楽しいプログラムがみなさんをまっています。(森本)